

佐賀平野に 大雨が降ったら、 どうなるの？

佐賀平野は有明海の北に大きく広がる低い平地です。そこを流れる六角川・牛津川、筑後川・城原川、嘉瀬川などは、有明海の潮の満ち引きの影響を受けています。

佐賀平野に大雨が降ると、道路の溝、下水管、水路から雨水があふれ、家、道路や田畑などが水に浸かります。また、河川の水位は高くなり、堤防がこわれたり、河川の水が堤防を越えて、家、道路や田畑などへ流れ出る恐れがあります。

このような災害が起こる可能性のある大雨が予想される時は、洪水、気象や避難に関する情報が発表されます。

広く低い平地が続く佐賀平野

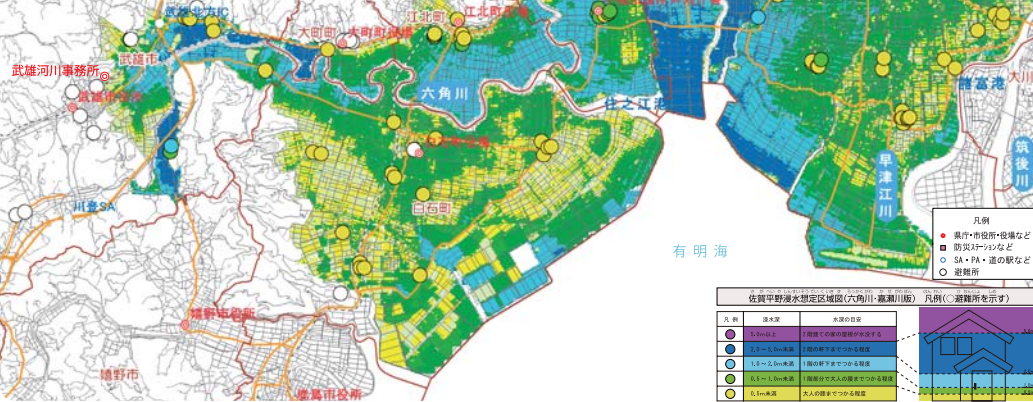


自分が住んでいる 地域はどのくらい 浸水するの？

右の浸水想定区域図は、六角川・牛津川、嘉瀬川に大規模な洪水が発生した場合、あなたが住んでいる地域が、どのくらい浸水するか想定したものです。
図の○印は避難所を示しています。詳しい内容を知りたい時は、市町に問い合わせましょう。

佐賀平野浸水想定区域図(六角川・嘉瀬川版)

この図は、次の①と②の条件で雨が降った場合に、河川の水位が高くなり、堤防により平野に氾濫した水や内水氾濫で、浸水する水の深さが一番深くなる時を色で表した図を重ね合わせたものです。
①六角川・牛津川が流れる地域に平成27年7月水害が起きた時の雨
(※六角川水系から東側の龍徳を対象にしています)
②嘉瀬川が流れる地域に昭和28年6月水害が起きた時の雨
この図は、市町で作成しているハザードマップと比べて、堤防がこわれる場所の想定の違いや地形をより詳しくとらえて浸水を作っているため、浸水範囲や場所によっては水の深さに多少の違いがあります。
○印は避難所(平成23年3月時点)を表しており、その避難所が最も浸水深かった時の深さを色で区分して表しています。もしもこのような洪水にあった時は、市町からの避難に関する情報に注意して、安全を確認しながら速やかに避難してください。
なお、この浸水想定区域図は1つケースであり、雨の降り方などの違いにより、浸水範囲や水の深さが変わる可能性があります。



凡例

- 県庁・市役所・役場など
- 防災センターなど
- 駅・バス・道の駅など
- 避難所

浸水想定	浸水の目安
赤	2メートル以上の浸水が想定される
オレンジ	1メートル以上の浸水が想定される
黄	50センチメートル以上の浸水が想定される
緑	30センチメートル以上の浸水が想定される
青	10センチメートル以上の浸水が想定される
白	浸水の想定なし

自分たちの 避難場所は どこなの？

避難所までの安全な道を確認しよう
集合場所や連絡方法を決めておこう

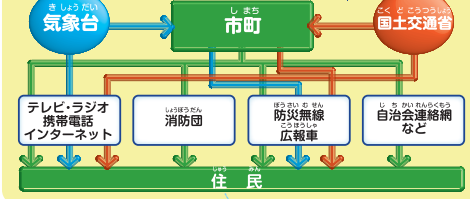
日頃から市町のハザードマップを見ながら、家族みんなで、避難所や家族の連絡先などを確認しておきましょう。

おじいさん、おばあさんはどうするの？



非常時に持ち出すものを用意しておこう

「洪水に関する情報」は、国・県や市町から！



災害時 要援護者は どうするの？



災害時要援護者とは、高齢者世帯、要介護者、障害者、難病患者、妊婦、乳幼児、日本語に不慣れな外国人といった災害時に1人で避難が難しい住民のことです。

佐賀平野に大雨が降ったら、どうなるの？

佐賀平野は有明海の北に大きく広がる低い平地です。そこを流れる筑後川・城原川・嘉瀬川、六角川・牛津川などは、有明海の潮の満ち引きの影響を受けています。

佐賀平野に大雨が降ると、道路の溝、下水管、水路から雨水があふれ、家、道路や田畑などが水に浸かります。また、河川の水位は高くなり、堤防がこわれたり、河川の水が堤防を越えて、家、道路や田畑などへ流れ出る恐れがあります。

このような災害が起こる可能性のある大雨が予想される時は、洪水、気象や避難に関する情報が発表されます。

広く低い平地が続く佐賀平野



自分が住んでいる地域はどのくらい浸水するの？

右の浸水想定区域図は、筑後川・城原川・嘉瀬川に大規模な洪水が発生した場合、あなたが住んでいる地域が、どのくらい浸水するが想定したものです。図の○印は避難所を示しています。詳しい内容を知りたい時は、市町に問い合わせましょう。

佐賀平野浸水想定区域図(筑後川・嘉瀬川版)

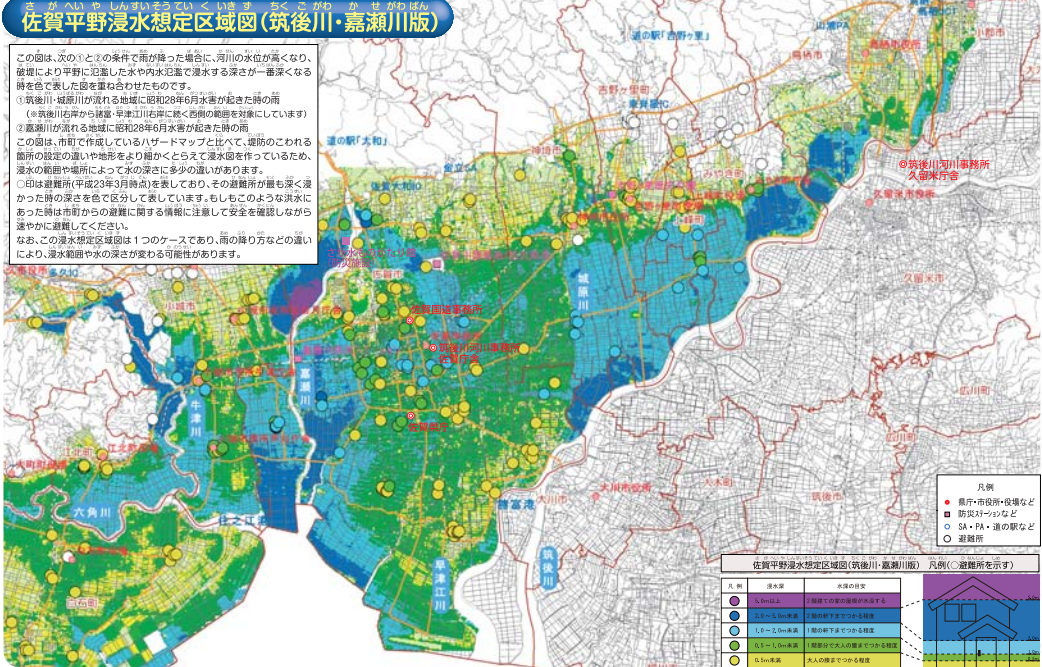
この図は、次の①②の条件で雨が降った場合に、河川の水位が高くなり、堤防により平野に氾濫した水や内水氾濫で浸水する深さが一番深くなる時を色で表した図を重ね合わせたものです。

①筑後川・城原川が流れる地域に昭和28年6月水害が起きた時の雨
 (※筑後川は石原から早瀬・早瀬上川石原に続く西側の範囲を対象にしています)

②嘉瀬川が流れる地域に昭和28年6月水害が起きた時の雨
 この図は、市町で作成している「ゲートマップ」と比べて、堤防のこわれる場所の浸水の深さや地味をより細かくとらえて家や畑を作っているため、浸水の範囲や場所によって水の深さに多少の違いがあります。

○印は避難所(平成23年3月時点)を表しており、その避難所が最も深く浸かった時の深さを色で区分して表しています。もしもこのような洪水にあった時は市町からの避難に関する情報に注意して安全を確認しながら速やかに避難してください。

なお、この浸水想定区域図は1つのケースであり、雨の降り方などの違いにより、浸水範囲や水の深さが変わる可能性があります。



自分たちの避難場所はどこなの？

日頃から市町のハザードマップを見ながら、家族みんなて、避難所や家族の連絡先などを確認しておきましょう。

避難所までの安全な道を確認しよう

集合場所や連絡方法を決めておこう

おじいさん、おばあさんはどうするの？

家の外に危ないところはないか調べよう

非常時に持ち出すものを用意しておこう



水害の情報はどこが教えてくれるの？



災害時要援護者はどうするの？

災害時要援護者とは、高齢者世帯、要介護者、障害者、難病患者、妊婦、乳幼児、日本語に不慣れな外国人といった災害時に1人で避難が難しい住民のことです。

